

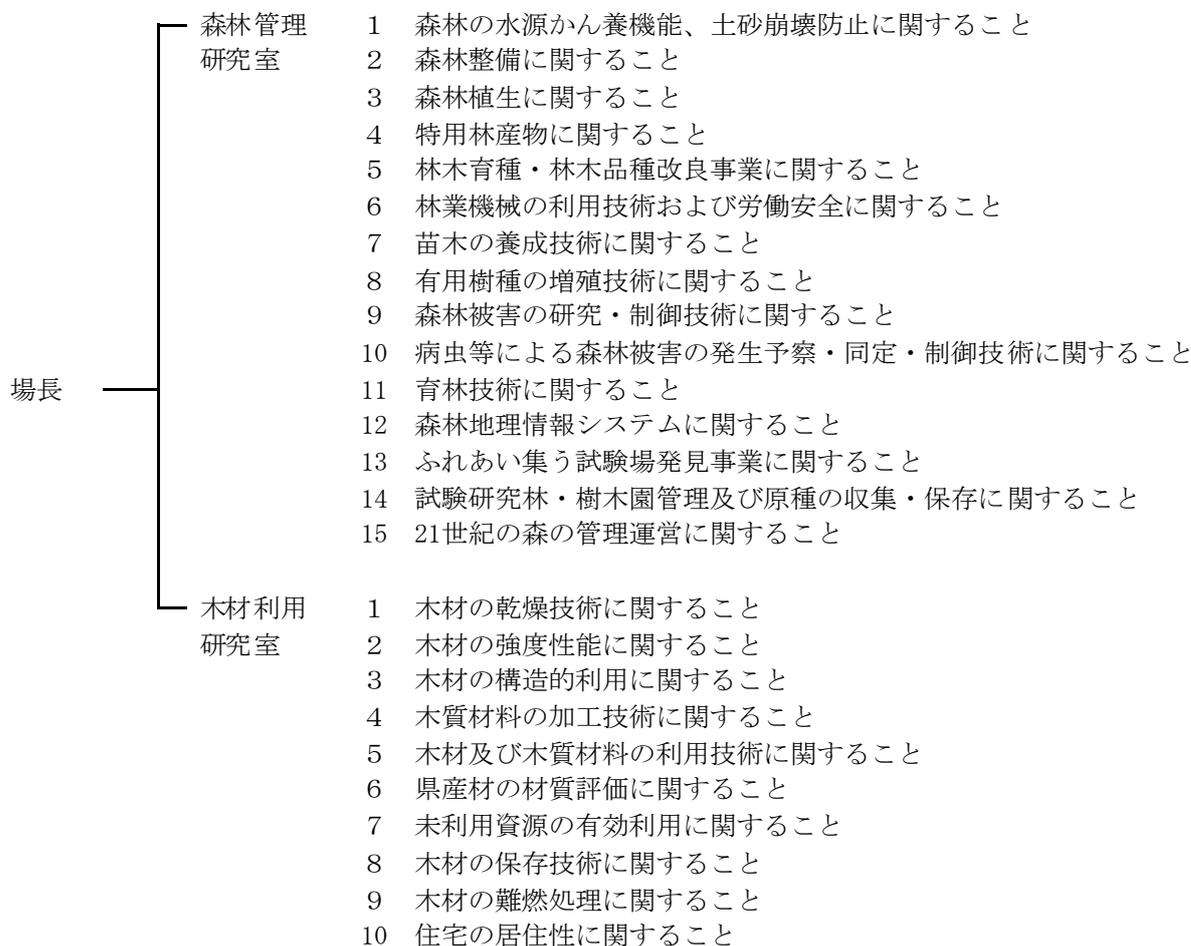
# 林業試験場の概要

## I 沿革

- 昭和30年 9月 鳥取市立川町6丁目（旧練兵場跡地）に鳥取県林業試験場（庶務係・施業部・改良部を設置）として開場し、全国で21番目の公立林業試験場として業務を開始した。
- 昭和34年 4月 施業部を経営部に、改良部を造林部に改称する。
- 昭和37年 9月 部制を科制に改称し、1係2科制となる。
- 昭和45年 4月 係制を課制に改称し、総務課、経営科、造林科の1課2科制となる。
- 昭和50年 4月 林木品種改良事業を造林課より当場に移管する。
- 昭和51年 4月 育種科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科の1課3科制となる。
- 昭和55年 4月 保護科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科、保護科の1課4科制となる。
- 昭和55年 6月 林業試験場を八頭郡河原町稲常へ新築移転する。
- 平成 7年 4月 科制を室制に改称し、総務課、森林造成研究室、林業生産研究室、森林管理研究室、木材加工研究室の1課4室制となる。
- 平成 7年10月 木材加工研究棟の新設。
- 平成17年 4月 森林管理研究室、木材利用研究室の2研究室制となる。
- 平成18年 4月 農林水産部内に農林総合技術研究院が新設され、総務課が総務普及課となる。
- 平成20年 4月 農林総合技術研究院が農林総合研究所となり、傘下に農業試験場、園芸試験場、畜産試験場、中小家畜試験場、林業試験場が統合され、林業試験場は農林総合研究所林業試験場となる。総務組織が農林総合研究所企画総務部に統合され、林業試験場の総務普及課が廃止される。

## II 機 構 (平成25年4月1日現在)

### 1 組織・業務



## 2 職員数

## (1) 職員配置状況

区分 課・室名	事務 職員	技 術 職 員	現 業 職 員	計	非常勤 職員	備考
場 長 (事務室)	(1)	1		1 (1)	2 2	(1)本務は農業試験場 森林学習展示館 試験地管理・21世紀の森
森林管理研究室		6	1	7	14	
木材利用研究室		5		5	2	
計	(1)	12	1	13 (1)	20	

( ) は農業試験場兼務職員

## (2) 職員一覧表

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

課・室名	職名	氏名
	場長	大西良幸
森林管理研究室	室長	有吉邦夫
	主任研究員	山増成久
	主任研究員	池本省吾
	主任研究員	矢部浩
	研究員	赤井広野
	研究員	西村周太郎
	現業職長	玉木操
木材利用研究室	室長	西村臣博
	主任研究員	川上敬介
	主任研究員	高橋秀彰
	研究員	森田浩也
	研究員	桐林真人

### Ⅲ 施 設 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

#### 試 験 場

(1) 鳥取市河原町稲常 1 1 3

1) 土 地	267,213.24㎡	2) 建 物	3,096.58㎡
建物等敷地	10,180.24㎡	本        館	1,174.98㎡
苗        畑	7,000.00㎡	木材加工研究棟	936.60㎡
シリンジ苗畑	600.00㎡	昆虫飼育室	50.00㎡
採 穂 園	6,000.00㎡	機械実験室・木工室	114.10㎡
採 種 園	22,000.00㎡	作業舎・農機具舎	320.80㎡
試 験 林	170,000.00㎡	ガラス室	194.40㎡
樹 木 園	19,000.00㎡	温        室	100.30㎡
人 工 槽 場	400.00㎡	機 械 室	12.00㎡
そ の 他	32,033.00㎡	堆 肥 舎	50.00㎡
		発 電 気 室	29.75㎡
		ポ ン プ 室	12.66㎡
		プ ロ パ ン 庫	8.88㎡
		倉 庫 ・ 車 庫	81.90㎡
		屋 外 便 所	10.21㎡
		廃 液 保 管 庫	9.80㎡
		製 品 保 管 庫	60.00㎡

#### 位置及び交通

##### 位 置

〒680-1203 鳥取県鳥取市河原町稲常 1 1 3 番地

T E L (0858) 85 - 2511

F A X (0858) 85 - 2512

##### 交 通

鳥取駅方面から智頭・河原方面行バス稲常下車徒歩10分

(鳥取駅から車で15分)

## IV 予算の状況 (平成24年度)

### 1 林業試験場費の予算額

(単位：円)

事業名	平成24年度			平成25年度 当初予算額	
	当初予算額	財源内訳			
		国庫支出金	その他		一般財源
管理運営費	44,937,000		115,000	44,822,000	45,581,000
試験研究費	13,379,000	333,000		13,046,000	14,086,000
ふれあい集う森の試験場 発見事業	1,930,000		25,000	1,905,000	1,904,000
林木品種改良事業費	184,000			184,000	225,000
施設整備費	629,000			629,000	5,204,000
合計	61,059,000	333,000	140,000	60,586,000	67,000,000

### 2 その他の執行予算額

(単位：円)

科目	執行予算額	科目	執行予算額
森林病虫害防除費	2,438,000	道路橋りょう維持費	2,000,000
環境保全費	187,000	林業振興費	823,000
		合計	5,448,000

## V 平成24年度 試験研究成果の発表論文名一覧

発表論文名	発表者	掲載誌名	発行年月
(1) 林業統計にみる鳥取県の森林バイオマス利用	川上敬介	森林バイオマス利用学会誌 第7巻第1号	H24年6月
(2) 生分解性不織布ロングポットを使用した緑化樹苗木の成長	池本省吾他2名	日本緑化工学会誌38(1)	H24年8月
(3) 針葉樹床板材の滑り性	川上敬介	木材工業 Vol. 68, No. 1	H25年1月
(4) スギノアカネトラカミキリの被害を受けた製材品の強度性能把握	森田浩也	全国林業研究機関協議会誌	H25年1月
(5) スギノアカネトラカミキリ被害材の強度性能(第2報) スギ正角材の材面の食害程度と強度の関係	倉本一紀他6名	木材工業 Vol. 68, No. 2	H25年2月
(6) 海岸砂地に植栽されたクロマツ苗木の活着率向上のための保水材の使用方法及び客土材料の検討	矢部浩	日本海岸林学会	H25年3月

## VI 平成24年度 学会発表およびその他の発表課題名一覧

発表課題名	発表者	掲載誌名	発行年月
(1) 生分解性不織布ロングポットを使用した緑化樹苗木の成長	池本省吾他2名	ELR2012東京講演要旨集	H24年9月
(2) 丸太の含有水分の変化と応力波伝搬速度との関係について	桐林真人他6名	日本木材学会中国四国支部第24回研究発表会要旨集	〃
(3) 針葉樹床板材の滑り性	川上敬介他	〃	〃
(4) スギノアカネトラカミキリ被害材の強度性能(第5報) 製材品内部の被害の特徴	森田浩也 他3名	〃	〃
(5) 実大材の静的ねじり試験による内部割れの測定(第10報) スギ、ヒノキ、カラマツのGdを用いた内部割れの推定について	柴田寛 他14名	〃	〃
(6) スギ厚板とダボで製作した構面のせん断性能(その1) スギ厚板とシラカシダボで作成した大壁壁勝ち一間仕様の耐力壁のせん断性能	柴田寛 他12名	〃	〃
(7) スギ厚板とダボで製作した構面のせん断性能(その2) スギ厚板とシラカシダボで作成した水平構面のせん断性能	柴田寛 他12名	〃	〃
(8) スギ厚板とダボで製作した構面のせん断性能(そ	柴田寛 他10	日本木材加工技術協会第	H24年10月

の3) 住宅の耐震改修を目的に10kNの柱金物を使用した場合のせん断性能	名	30回記念年次大会講演・研究発表要旨集	
(9) 熱浸透率による住宅内装用板材の伝熱特性評価	川上敬介・小畑良洋	〃	〃
(10) 地下流水音探査法を用いた山地斜面における水みちの推定	矢部浩	山陰発技術シーズ発表会 inとっとり	〃
(11) 雌雄異株樹木の苗木段階での雌雄判別法の開発—薬剤処理が苗木の成長及び着花に及ぼす影響—	池本省吾	第63回応用森林学会大会研究発表要旨集	〃
(12) 本県少花粉スギ品種の効率的な苗木増殖	池本省吾、有吉邦夫	森林遺伝育種学会第1回大会講演要旨集	H24年11月
(13) スギカミキリ抵抗性鳥取県6号、8号1回床替え2年生挿し木苗の生長型	赤井広野、有吉邦夫	〃	〃
(14) 鍋割国有林におけるナラ枯れ防除試験	宮本和則 他1名	平成24年度森林・林業交流研究発表会	〃
(15) 県産材の利用拡大への提案—県産材を活用した地震に強い耐力壁の開発—	柴田寛	第46回林業技術シンポジウム	H25年1月
(16) 緑化樹の薬剤処理による雌雄判別の試み	池本省吾	第124回日本森林学会大会学術講演集	H25年3月
(17) 粘着シートを用いたナラ枯れ防除試験	宮本和則他5名	〃	〃
(18) ヒノキの強度特性における遺伝力の推定	有吉邦夫他3名	〃	〃
(19) 立木の応力波伝搬時間の斜め計測に及ぼす測線角度の影響	桐林真人 他4名	第63回日本木材学会大会研究発表要旨集	〃
(20) 接触面温度の経時変化による地域材の「接触温度感」の可視化	川上敬介・八谷朋彦・小畑良洋	〃	〃
(21) 原木横断面から得られた近赤外スペクトルを用いた単板剛性の非破壊推定	藤本高明・川上敬介・清水淳一・長谷川広一	〃	〃
(22) さし木ヒノキの強度性能と遺伝的組成に起因する変動の安定	森田浩也 他9名	〃	〃
(23) 実大材の静的ねじり試験による内部割れの測定(第11報) 測定時期の早期化と含水率計の値を用いることによる内部割れ推定の効率化の検討	柴田寛 他10名	〃	〃
(24) スギ厚板とダボで製作した構面のせん断性能(その7) 面材と横架材を直接接合しない大壁の天	柴田寛 他11名	第63回日本木材学会大会研究発表要旨集	〃

井・床勝ち半間で入隅仕様の耐力壁のせん断性能 (25) スギ厚板とダボで製作した構面のせん断性能(その4) スギ厚板とシラカシ平ダボで製作した大壁壁勝ち半間仕様の耐力壁のせん断性能	柴田寛 他11名	日本建築学会中国支部研究発表会	H25年3月
(26) スギ厚板とダボで製作した構面のせん断性能(その5) スギ厚板とシラカシ平ダボで製作した大壁天井・床勝ち半間仕様の耐力壁のせん断性能	柴田寛 他11名	〃	〃
(27) スギ厚板とダボで製作した構面のせん断性能(その6) 面材と横架材を直接接合しないスギ厚板とシラカシ平ダボを使用した天井・床勝ちの大壁半間仕様の耐力壁のせん断性能	柴田寛 他11名	〃	〃

## VII 森林講座（森のいろは塾）の開催

開催日時	開催場所	内容
平成24年8月4日	林業試験場および21世紀の森	樹木や昆虫の観察、木製品づくりや草木染めなど4講座で開催。研究員が講師をつとめ、親子161名が参加した。

## VIII 林業試験場研究発表会

森林・林業フォーラム(林業試験場研究発表会)

開催日時	開催場所
平成24年12月1日	米子市文化ホール

発表課題名	発表者名
「県産材でつくる地震に強い壁」	柴田 寛
「花粉の少ないスギ苗木の効率的な生産」	池本 省吾

## IX 平成24年度 利用状況

区分	経営	環境	育林	機械	病虫害	特産	育種	育苗	木加工	計
受託指導	3	16	28	6	38	8	14	35	107	
派遣指導		5	4	2	6	2	5	6	64	

受託指導：来場者、送付標本等による技術指導件数。

派遣指導：研究員を現地に派遣して指導した件数。

## X 平成24年度 講師派遣

期 日	講 師 名	内 容	対 象 者
H24年4月6日	有吉邦夫	試験研究概要	JA西部畜産組合
H24年5月30日	埴田淳一 有吉邦夫 西村臣博	試験研究概要	鳥取環境大学生
H24年6月13日	川上 敬介	木質バイオマスの材料変換	鳥取環境大学生
H24年7月11日	西村臣博	木材の特性	フォレストワーカー受講者
H24年7月11日	池本省吾	第64回全国植樹祭ホームステイ 苗木育成研修会	県職員・市町村職員
H24年7月27日	矢部 浩	林業事業体研修会	八頭森林組合職員
H24年8月10日	池本省吾、赤井広 野	平成24年度マツノザイセンチュ ウ培養研修会	苗木生産者
H成24年8月30日	池本省吾	平成24年度広葉樹等ポット苗 木生産技術研修会	苗木生産者
H24年10月21日	池本省吾	第64回全国植樹祭カウントダ ウンイベント苗木育成相談	一般県民
H24年11月1日	有吉邦夫	森の働き	米里小学校 5年生
H24年11月2日	埴田淳一 有吉邦夫 西村臣博	試験研究概要	鳥取大学生
H24年11月20日	有吉邦夫、池本 省吾、赤井広野	とっとり沖の山スギ等苗木生 産技術研修会	苗木生産者
H24年11月27日	有吉邦夫	森の働き	世紀小学校 5年生
H24年11月28日	有吉邦夫 西村臣博	試験研究概要	琴浦町青年農業士
H25年1月23日	有吉邦夫 池本省吾	きのこ栽培担い手養成研修	菌茸研究所研修生
H25年1月23日	有吉邦夫、池本 省吾	平成25年度種苗生産者登録講 習会	苗木生産者等
H25年2月28日	有吉邦夫	弓ヶ浜・白砂青松そだて隊活動 報告会	弓ヶ浜・白砂青松そだて隊32団 体

## XI 平成24年度 研修生の受入れ

H24年5月14日～18日	森林管理研究室 木材利用研究室	いきいきワークかわはら 森林、木材調査補助	河原中学校生徒3名
H24年9月10日 ～9月14日	森林管理研究室 木材利用研究室	インターンシップ	米子高専 1名

## XII 共同研究成果報告会の開催

開催日	開催場所	研究課題名
H24年5月31日	鳥取大学工学部会議室	県産材の住宅用床材としての性能評価とデータベース化
H24年6月7日	株式会社オロチ会議室	スギ・ヒノキを活用したハイブリッドLVLの生産・利用技術の確立

## XIII 公開実験の開催

開催日	開催場所	内容	対象者
H24年12月18日	林業試験場構内	県産材を使用した住宅用耐力壁の面内せん断試験	工務店、製材所、一般
H25年3月6日	林業試験場構内	県産材を使用した住宅用耐力壁の面内せん断試験	工務店、製材所、一般

## XIV 平成25年度に行う試験研究課題と関連事業

### 1 試験研究

課 題 名	担 当 者
(森林管理研究室) スギ人工林の品質向上に関する施業技術の確立 ナラ類集団枯損被害の初期防除と拡大防止手法の開発 松くい虫被害地におけるクロマツ苗木の活着率向上試験 高性能林業機械の稼働率を向上させる現地モデル試験 地下流水音探査法を用いた効果的山地災害対策のための技術開発 ハイブリッド無花粉スギの創出	西村 周太郎 池本 省吾・有吉 邦夫・西村 周太郎 矢部 浩 山増 成久 矢部 浩 赤井広野・有吉 邦夫
(木材利用研究室) スギ・ヒノキを活用したハイブリッドLVLの生産・利用技術の確立 県産材と伝統技術を有効に活用した住宅用耐力壁の開発 県産ヒノキ材の横架材としての利用技術の開発 県産スギ材の材質及び強度の優れた品種の選抜 スギ一般大径材を活かした芯去り製品の開発 小幅板のクロスパネル化による新たな利用価値の創出	川上 敬介 西村 臣博 森田 浩也 桐林 真人 高橋 秀彰 川上 敬介

### 2 関連事業

事 業 名	担 当 者
林木品種改良事業 樹苗養成事業 森林病虫害防除事業 環境省酸性雨モニタリング事業 県産木材率先活用のための防護柵等点検診断事業	赤井 広野・玉木 操 赤井 広野・池本 省吾 池本 省吾・有吉 邦夫 西村 周太郎・有吉 邦夫 高橋 秀彰

### 3 臨時的調査研究

課 題 名	担 当 者
積雪地における各種ツリーシェルターの実証試験	矢部 浩
マイクロ波含水率機器と全乾法による含水率の相関の解明	高橋 秀彰